

話題満載

大窪秀臣さん 旭日筆光章授章

1月12日、山梨県庁知事室で叙勲伝達式が行われ、中野の大窪秀臣さんが旭日筆光章を授章されました。



大窪さんは昭和46年に南部町議員に当選し、3期12年間にわたり在職し、総務常任副委員長、土木常任委員、文教厚生常任委員長等を歴任しました。また南部町森林組合理事、南部町商工会理事等の要職も歴任しました。地域住民の絶大な信望を集め、地域社会地域社会に多大な貢献をされました。

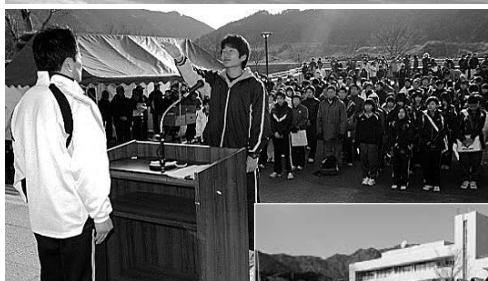
この度、これらの功績が高く評価されての受賞となりました。おめでとうございます。

南部町駅伝大会

1月23日、第8回南部町駅伝大会で48チームが参加し、健脚を競いました。

アルカディア総合公園から南部橋を抜け南下、富栄橋を抜け阜月区西市で折り返す全長14・3キロ、5区間のコースです。

当日は冬の寒さは厳しいものの風はそれほど強くなく天候に恵まれました。10時にアルカディア総合公園をスタート。ゴールの役場本庁を目指し力走。全チーム無事に完走しました。



オープンの部(総合)

第1位 身延高校陸上部男子 46分54秒

第2位 ふじ観光ランニング 47分25秒

第3位 峡南消防RC 49分34秒

オープン(町内)チームの部

第1位 富士見区楽走会

中学生男子の部

第1位 身延AC

中学生女子の部

第1位 南部中女子バスケ

新春書道展

1月23日、活性化センターで子どもクラブ連合育成会新春書道展の表彰式が行われました。書道展には481点の作品が応募され表彰式には33名が参加しました。家族の見守る中、元氣良い返事と共に表彰を受けていました。

◇小学校1年生『にじ』

金賞 石川 歩 優 (南部)

銀賞 近藤 雄 大 (天塩)

銅賞 望月 侑 天 (天塩)

銅賞 清野 若 奈 天 (天塩)

銅賞 佐野 唯 純 天 (天塩)

銅賞 熊王 大 輝 (内船下)

◇小学校2年生『いきいき』

金賞 石川 雄 玖 斗 (南部)

銀賞 青島 佳 大 朗 (内船中)

銅賞 望月 奈 治 (内船上)

銅賞 山本 歩 実 (成島)

銅賞 千頭 和 奈 (内船中)

銅賞 三澤 麻 尋 天 (天塩)

◇小学校3年生『にじ』

金賞 千月 厚 弥 天 (天塩)

銀賞 諏訪 あす 美 柳 島

銅賞 樋口 凛 太 朗 (南部)

銅賞 植松 音 美 成 島

銅賞 近藤 夏 希 (内船中)

銅賞 樋口 さくら 南 部

◇小学校4年生『大空』

金賞 四條 良 紀 (内船上)

銀賞 大森 瀬 奈 (内船上)

銅賞 佐野 七 海 中 野

銅賞 山本 紗 也 佳 (内船上)

銅賞 二宮 礼 奈 (南部)

銅賞 千月 翔 太 (天塩)

◇小学校5年生『明るい心』

金賞 望月 豪 柳 島

銀賞 木内 一 輝 南 部

銅賞 桐戸 南 歩 南 部

銅賞 原間 壮 生 本 郷

銅賞 尾崎 花 音 中 野

銅賞 諏訪 彩 夏 柳 島

◇小学校6年生『立春の空』

金賞 近藤 早 紀 (内船上)

銀賞 四條 菜 津 美 (内船上)

銅賞 志村 彩 本 郷

銅賞 植松 紀 帆 成 島

銅賞 植田 京 遥 南 部

銅賞 田村 京 遥 南 部

銅賞 植田 京 遥 南 部

◇中学校1年生『自然の美』

金賞 笠井 美 雪 南 部

銀賞 山本 李 花 (内船上)

銅賞 諏訪 凧 沙 柳 島

銅賞 辰野 智 哉 南 部

銅賞 佐野 佳 那 実 中 野

銅賞 木内 洸 汰 南 部

◇中学校2年生『青雲大志』

金賞 原間 菜 月 本 郷

銀賞 山本 拓 斗 (内船上)

銅賞 近藤 亮 太 (内船上)

銅賞 望月 亮 佑 元 宿

銅賞 穂坂 洋 奈 (内船中)

銅賞 芦川 日 和 (成島)

◇中学校3年生『温故知新』

金賞 笠井 由 璃 江 南 部

銀賞 辰野 綾 美 (南部)

銅賞 鍋田 佳 步 新 宿

銅賞 湯浅 瑞 貴 南 部

銅賞 鈴木 明 允 南 部

なお、入選作品は2月末まで『なんふの湯』で展示しておりますのでぜひご覧ください。

新春お楽しみ会

1月15日(土)南部図書館ホランティア
ほたるの会による新春お楽しみ会が開
催されました。

今年の干支にあわせた大型絵本「う
さぎのくれたバレエシューズ」安房直
子(文)や「ぴょん」まつおかたつ
ひで(作)の読み聞かせ、また、むか
しの懐かしい遊びでは、お手玉遊びや
電車ごっこなどほたるの会の皆様なら
ではの雰囲気の中、和やかに会を楽し
みました。また、お楽しみ会恒例となっ
た手作りおしるこのサービスもありお
正月の行事にふさわしいひとときを親
子で楽しみました。



道場に掛け声響く



南部町剣道スポーツ少年団では1月
8日(土)午前8時から、寒稽古を兼ねて
本年の稽古初めを行いました。

冷え込んだ町広域柔剣道場に十数名
の少年剣士の元気な掛け声が響き、稽
古を終えて面を外した剣士の日本手拭
からは湯気が上がり、顔には汗が流れ
ていました。

終了後には、父母の方が準備した豚
汁とおにぎりを食べて、今年も元気に
稽古に励むと誓い合いました。

元気です!! なんぶ

明るく、楽しく
生きていきたい

皐月区

佐野 まさ子さん 87歳

皐月区にお住まいの佐野さん。
デイサービスでのボランティア活
動や民謡クラブなど多種多様な活動
をされてきた佐野さん。中には会の
発足・運営に尽力されたことも。こ
れも「自分でも役立つなら」「みんな
のために」との考え方から。

中でもデイサービスセンターでの
ボランティア活動ではサービス利用
者からその姿が励みになると言われ
た事を職員から傾聴したとお話して
くれました。



現在の活動はとお聞きするとグラ
ンドゴルフ・ゲートボール・民謡・
御詠歌・いきいき大学・ふれあいサ
ロンと幅広く活動され、詩吟につい
ては夫婦で続けているとのこととし
たが、まだまだいろいろな活動に興
味が有り活動意欲満点です。

そんな佐野さんに活動の原動力を
お伺いしたところ、人のため活動す
ると喜んでいただける。活動が楽し
みになる。結果として自分も皆さん
から元気を貰うことができるこのこ
と。また、何より多くの活動に参加
できたのは夫である十良夫さん、息
子さんなど、家族や身近な人の理解・
協力があつたからとのこと。

これからも夫婦仲良く元気でお過
ごしく下さい。

「国保」の将来を見据えて

◆安心な医療制度を守ろう

国保制度は、加入者の皆さんの助け合いによる医療保険制度ですが、このままでは制度の存続に赤信号がともりかねない状況です。

この要因は高齢化の一層の進展、生活習慣病の増加や医療技術の高度化により、年々伸び続ける医療費と長引く景気の低迷による保険税収入の伸び悩みが主な原因です。

そこで、医療費を抑えるために、私たちができることを考えたいと思います。

◆受診の仕方を工夫し、効率よく医療を受ければ、医療費を節約することができます！

保険税は、原則としてその年の予測される医療費を基に決定されます。

医療費が増えれば、保険税の値上げという形で私たち自身に跳ね返ってきます。

医療費をこれ以上増やさないためにも、日ごろからの健康づくりを心掛けましょう。

病院はむやみに変えないで

病院を変えるごとに初診料が掛かり、同じような検査を繰り返し、似たような薬を二重、三重にもらうのは、医療費の無駄遣いです。

また、医療費窓口無料化による安易な受信は控えましょう。

治療より予防

病気にならないければ医療費は掛かりません。日ごろの生活習慣を見直し、改善していきましょう。

定期的に検診を受けよう

病気を早期発見できれば、その分治療も早く終わり、医療費の節約になります。

ジェネリック医薬品(後発医薬品)を利用

有効成分や効果は新薬(先発医薬品)と同じです。新薬から切り替えれば、自己負担も減って、薬代の節約につながります。

診療の受け方も大切

適切な治療を受けるため、症状は正確に伝え、医師の指示はきちんと守りましょう。

◆国保を支えているのは皆さんの保険税です

「自分は健康だし、病院に行かないから関係ない。」と考える方がいるかもしれませんが、どのような方でもいつ大きな病気やけがをするか分かりません。そのために健康な方にも収入に応じた保険税を納めていただながら、国保を支えていただく代わりに、自分が大きな病気やけがをしたときには支えてもらうというのが国保の趣旨です。

保険税を納めない方がいると、この全体の仕組みが機能しなくなります。保険税を納めるということは、自分だけでなくみんなが安心して暮らせるために必要なのです。

◆国保に加入するとき、やめるときは必ず14日以内に届け出ましょう

○加入の届出が遅れると…加入の資格を得た月までさかのぼって保険税を納めなければなりません。保険証がないため、その間にかかった医療費は全額自己負担になります。

○やめる届出が遅れると…資格がなくなった後、すっかり国保の保険証を使って医療を受けてしまった場合、国保が負担した医療費はあとで返すことになります。

また、ほかの健康保険に加入すると保険税(料)を二重払いすることになります。

◆後期高齢者医療制度についてお知らせします

75歳になると国保をめけて、後期高齢者医療制度に加入し、医療を受けることができます。

○対象になる人 ・75歳以上の人全員 ・一定の障害のある65歳以上の人(広域連合の認定を受けた人)

○対象になる日 ・75歳の誕生日 ・一定の障害のある65歳以上の方は認定を受けた日

○自己負担割合 ・かかった費用の1割負担 ・現役並み所得者は3割負担